ともに励まん



２０１８，５，２４（木）
北海道旭川永嶺（えいりょう）高等学校２年次だより　第７号（通巻 52 号）

書く 読む 考える

テスト２週間前！

自分の名前は美しく！

自分の名前を**ごちゃごちゃ**と書く人がいます。**ぐしゃぐしゃ**と言ってもいい。書かれた文字って不思議なものですが、書いた人の**性格が推し量られる**ものであります。それは、必ずしも当たっているとは限らないのですが、ごちゃごちゃと書かれた文字からは、それを書いた人の性格も「ごちゃごちゃな人」と見られがちです。逆に、「流麗な」文字で書かれた名前を見ると、それを書いた人も「美しい人」のように推測されがちなものです。



ところで、これまで、きみたちの名前は、親が書いてくれるか、自分が書いたものは学校の先生が見るのがほとんどだっただろうと思います。自分にも他人（＝先生）にも慣れっこになってしまって、自分の名前が「人格と重ね合せて見られる」ということに、考えは及びませんね。

しかし、今後社会人になったとき、自分（きみたち）の名前を他人が上手に書く･･･という場面に遭遇したりすると、これがけっこうショックだったりします。自分の名前って、生涯を通じて最も回数多く書くのは自分なはずです。それなのに、自分の名前を、他人にさらっと美しく書かれたりすると、「あじゃぱー」と思うことになると思います。

諸外国ではあまり書き文字の巧拙は問題にされないのかもしれませんが、日本では不思議と、書かれた文字と人格が関連づけて捉えられる傾向があります。ならばこれを逆手にとって、せめて自分の名前、生涯最も書く回数の多い自分の名前、自分の証明であるところのわが名を、だれよりも美しく書くようにした方が、なにかと得策ではないのか。

ちなみに、『山月記』の李徴が若くして合格した「科挙」の試験のエピソードですが、

「字に脱誤ある者は呼びて席後に起立せしめ、書の濫劣なる者有れば墨水一升を飲ませしめ･･･」

と歴史書（『隋書』）に書かれており、できの悪い受験者、文字の乱雑な受験者はその場で罰を与えられ辱められたといいます（それにしてもヘタ字で墨汁1.8ℓも飲まされたらたまらんね）。

世は何かと機械化が進み、ICT時代だと騒がれていますが、やっぱり自分の名前くらいは美しく書いたに越したことはないですね。そのためには、なにかと**自分の名前を書く機会が多い学生時代のいまから、1回1回、自分の名前を書き殴ることなく、心込めて書く**ような習慣をつけておくといいと思います。千里の道も一歩から。まずは、中間考査の答案の署名は心を込めて･･･。

文芸クイズ　これはいったい何のこと？

～とある文豪の作品から～

「…あの肌合（はだあい）が滑（なめ）らかに、緻密（ちみつ）に、しかも半透明に光線を受ける具合は、どう見ても一個の美術品だ。…今生まれた様につやつやして、思わず手を出して撫（な）でて見たくなる。」

さて、これはいったい「なに」のことを表現した文章だと思いますか？　答えはウラ面へ！

クイズの答

「…菓子皿のなかを見ると、立派な□□が並んでいる。余は凡ての菓子のうちで尤も□□が好きだ。別段食いたくはないが、**あの肌合が滑らかに、緻密に、しかも半透明に光線を受ける具合は、どう見ても一個の美術品だ**。ことに青味を帯びた練り上げ方は、玉と蝋石の雑種のようで、甚だ見て心持ちがいい。のみならず青磁の皿に盛られた青い煉□□は、青磁のなかから**今生まれた様につやつやして、思わず手を出して撫でて見たくなる**。…」

これは、夏目漱石の『草枕』の一節です。漱石は□□が好きだったんですねえ。□□に入るのはなんと**羊羹**！それにしても漱石はこんな妖艶な表現もしていたんですねえ。しかも、羊羹という食べものに･･･。

文学って、面白いですね。



文学と食べもの

文字で食べものを表現するということは、なかなか難しいと思うんですが、そこはやはりプロ。多くの作家たちが様々な食べもの、飲み物を活字にしています。文豪の妖艶なる表現もいいのですが、私の読書貯金の中からみなさんにお勧めしたい小説を２つ紹介します。

１つめは、『和菓子のアン』（坂木司　光文社文庫）という、和菓子ばっかりをテーマにした小説です。面白い。

もう１つは、内海隆一郎の『30%の幸せ』もしくは『人びとの情景』という作品集の中にある「芋ようかん」という短編です。心にじーんとくる話、思わず芋ようかんを買いに出かけたくなる話です（中央、永山、東光、神楽各図書館蔵）。

なんでも「すごい」「やばい」で済ませることしかできない諸君。文学で言葉のレベルを上げてみないか？

【よびかけ】

残念なお知らせをしなければなりません。これまで本校ではほとんど起きなかった「金銭紛失」事故が発生しました。

こうした呼びかけをしなければならないことは残念なことですが、**高額な金銭を持ってこない、預ける**、などの、個々の対策も充分にとるよう、呼びかけます。

余録 スマホの画面のタッチは難しい。「ぶんごう」とタッチして、「文豪」と変換したつもりが、出てきた単語が何と！ひらがなで「ぶんころりん」。 こんな単語あるの？という驚きと、どういう意味？という疑問と。

高体連たけなわ

高体連たけなわですが、来週には6月を迎えます。その明くる週は、前期中間考査です。早いですね。予想されていた時期ではあるが、とにかく忙しい、疲れる日々かと思います。流される日々かもしれません。

そんな時、ちょっと立ち止まって考えるべきだ。

いまの自分のあり方は、これでいいのだろうか、何を目指すべきだったろうか。

忙しいときこそ、自分の足下を見つめ直す・・・そんな人であってほしいと思います。

☆☆☆来週の行事と時間割☆☆☆

５　月		行　事　等 ①②は、１校時２校時をあらわします		★時間割を確認しよう ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
２８	月	（夏服移行期間に入っています）	6 時間							
２９	火	剣道当番校会場（～ 31 日）	6 時間							
３０	水		6 時間							
３１	木	LHR（QU ＋学祭＋キャリアノート 5）	6 時間							
６　月 １	金	夏服（夏期略装）期間　～ 9/30 まで	6 時間							

公欠分のノートはしっかり補強！　中間考査前週、家庭学習の充実を！

（文責　伊丸岡）